



今年のテーマは「SDGs」

June 23, 2019 in SENDAI

来て、見て、さわって、楽しめる

環境マルシェ

開催日：2019年6月23日(日) 10:30—16:00

会場：仙台市サンモール一番町商店街アーケード内

主催：尚絅学院大学 環境デザイン教育研究センター、環境構想学科

後援：宮城県、宮城県教育委員会、仙台市

協力：サンモール一番町商店街振興組合

問合せ先：尚絅学院大学 鳥羽 妙 TEL&FAX 022-381-3359 t_toba@shokei.ac.jp



プログラム

- 10:30—16:00 各参加団体の紹介展示・ワークショップ、高校生の取り組み発表
- 14:30—15:00 高校生の取り組み発表 表彰式

出展者

事業所：山形県立自然博物館 ネイチャーセンター、むかい＊いきもの研究所、宮城県林業技術総合センター、ゆりりん愛護会、環境系学生団体海辺のたからもの、(公財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク、(株)三創、パタゴニア仙台、(株)トンボ※宮城トンボ(株)、(株)サイコー、仙台市環境局家庭ごみ減量課

高校：仙台二華高校、利府高校、柴田農林高校、多賀城高校、気仙沼高校 他

尚絅学院大学：環境デザイン教育研究センター、ピカボード愛好会、玉田ゼミ

詳細は… <http://www.shokei.jp/>

しょうけいがくいんだいがく

検索

各参加団体 出展内容



山形県立自然博物館 ネイチャーセンター

縄文の息吹を感じるブナの森

ブナの原生林が広がる月山山麓には、何千年もの間緻密に折り重なる森林生態系が豊かな土と水を育み、二酸化炭素を吸収して酸素を排出しています。縄文時代から変わらぬブナが育んだ命の水を紹介します。



むかい＊いきもの研究所

街中の植物を使って缶バッジを作ろう!

仙台市の市街地に生えている草花の押し葉押し花を使って、小鳥のイラストの周りを飾り付け、オリジナル缶バッジを作っていただきます。普段あまり意識することのない「植物のデザイン」を観察していただけます。



宮城県林業技術総合センター

森を守り育てていこう

森林に被害を与える病虫獣害にはどのようなものがあるのでしょうか？ 代表的な加害生物について標本や実物を確認し、森林被害の影響と対応策を紹介します。



ゆりりん愛護会

「生き残ったマツの子ともたち」

「生き残りのマツ」(6年生)と、海岸に生きる動植物(海浜植物、スナガニ etc)の現物展示を行います。また、マツのポット苗(1年生)を参加者に配り、それを手にした人たちに「マツの里親」になっていただき、育てた2年生のマツは海岸の植栽地に移植します。



環境系学生団体 海辺のたからもの

海洋ごみをつかったアクセサリーづくり

海洋ごみ問題の普及啓発活動として、海辺のたからもので行った海洋ごみの量と種類調査の展示と、海洋ごみを用いたアクセサリーづくりのワークショップを行います。すてきなアクセサリーが作れますよ。



公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク

海洋ごみのゆくえ

～海を汚しているのはだあれ?～

海岸汚染として取り上げられている「海洋ごみ」。原因は私たちの身の回りにたくさんあるプラスチックごみが大半です。MELONが実施した海洋ごみの調査など展示し周知をすると共にプラスチックごみを削減するためのきっかけを提供します。また、家庭の省エネ推進としてうちエコ診断を実施します。



SDGs ～持続可能な開発目標とは

2015年9月の国連サミットで採択された、2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です。17のゴール・169のターゲットから構成されています。



株式会社三創

エコ好き集まるエコショップOPEN!

電気自動車からぼかし肥づくりまで、大きなエコから小さいエコまでお任せください! エコ商品盛りだくさんのエコショップOPEN!



パタゴニア仙台

食を通して地球を救う 気候変動について考えよう。

パタゴニアの食品「プロビジョンズ」の販売を行います。有機農業で栽培された原料を使用したフルーツバーのご試食や、土を再生する革新的な多年生穀物「カーンザ」から作られた試飲用ビールをご用意しています。



(株)トンボ ※宮城トンボ株式会社

環境と制服の関係って?

- ① 制服の色々なリサイクル方法
- ② 捨てればゴミ、使えば資源。制服の残り布を活用する体験コーナー
- ③ 環境にやさしい工場。省エネ、CO2排出を少なく生産
- ④ トンボの環境活動紹介



株式会社サイコー

産業廃棄物のゆくえ

産業廃棄物とはどのようなものかご存知ですか? どう処理されているのか、加工途中のサンプルを用いてその行方を見ていきます!



仙台市環境局家庭ごみ減量課

「雑がみ」を分けてごみをスリムに ～雑がみ釣り堀にチャレンジ!～

仙台市で家庭ごみと一緒に捨てられ燃やされてしまう資源物のうち、一番多いのが紙類。なかでも「雑がみ」は最も割合が大きいのですが、はて、「雑がみ」ってなに?? 分別すれば立派にリサイクルされる「雑がみ」について、釣り堀ゲームで気軽に学んで、ご家庭でも分別を実践してみよう!

